

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 留学状況報告書



※留学状況報告書はExcelデータで提出してください。（ファイル名：A.留学状況報告書_●期_学生個人番号_学生氏名.xlsx）

●基本情報

学生個人番号	S161N176010002
氏名(漢字)	田中 舜
氏名(ひらがな)	たなか しゅん
所属大学等名	宮崎大学
所属学部/研究科/学科	農学部
所属学科/専攻/コース	獣医学科
課程(▼で選択)	学部
留学修了時の学年(○年)	5年
期 (○期)	4期
コース (▼で選択)	理系、複合・融合系人材コース
留学開始日(yyyy/mm/dd)	2016/10/03
留学終了日(yyyy/mm/dd)	2017/3/31

●留学の活動概要と成果

活動概要と成果 ※主要な留学先を2か所記入してください。 2か所を超える場合は、ページ下部にある「活動概要と成果(予備)」に記載してください	1	国名 都市名 受入機関名 期間 (yyyy/mm/dd)	スイス ベルン ベルン大学寄生虫研究所 2016/10/03 ~ 2017/3/31	
		活動概要と成果	スイスのベルン大学獣医学部にある寄生虫学研究所でウシで流産を引き起こして問題となる <i>Neospora caninum</i> についての研究を行った。研究所では、 <i>N. caninum</i> を感染させた妊娠マウスモデルを用いて、人工的に生成した <i>N. caninum</i> が動物に感染するときや感染しているときに関与するタンパク質をワクチン候補としてその有用性を評価した。今回の留学は、研究を進めていく上で重要なディスカッション力や実験の技術の向上を目的としていたが、留学を通じて、英語で実験のデータについて考察していく過程や、日本の研究室ではやったことのなかったような実験をでき、実験の技術も向上した。また、研究内容についてはスイスの寄生虫を研究しているPhdの学生たちの集まりの中で、プレゼンテーションを行った。	
		2	国名 都市名 受入機関名 期間 (yyyy/mm/dd)	
		活動概要と成果		

日本発信プロジェクト 活動概要と成果 ※事前課題P21と研修で検討した内容をもとに記載してください	活動タイトル (30文字以内)	日本っぽくない日本を伝える。
	実行したこと	研究所にいた人たちはほとんどがヨーロッパから集まった研究者で、日本に行ったことがないという人も多かった。その人たち日本に対するイメージはほとんどが伝統的な日本に関するもので、私たちが実際に暮らしている日本とはかけ離れていると思った。そこで、それが良かったのかどうかは不明だが、研究室にカレーパンを作って持って行った。海外、特にヨーロッパではそのような惣菜パンを頻繁に目にするのは少なく、真新しいのではないかと思ったからだ。また、毎日の食事の中で、日本での暮らしや文化について多く話すように心がけた。
	成果・気づいたこと	最初はカレーパンを自分で作ったとき、これがヨーロッパの人たちに受け入れられるのかどうか心配であったが、実際に持って行ってみると様々なコメントをくれて美味しいと言ってもらった。これらのことから気づいたのは、ヨーロッパは様々な国が集まってできていて、多文化に触れるというのがかなり頻繁であるので、異様に思えるものでも誠意を持って伝えればきちんと理解を示してくれるのだと感じた。
留学中および帰国後の活動を通じて最も成長した経験とそこから学んだこと ※事後研修事前課題・事後研修の内容を踏まえて記入してください ※具体的な経験エピソードをもとに記入してください	留学を通して成長をした経験は様々あるが、全体的に考えて最も自分の中で成長した点は何事にも挑戦してみれば良いことが多くあるということである。スイスのPhd studentたちの前で発表をしたことについても、それは留学の初期で、研究内容に対して多くの知識はなかったし、それ以前に自分の英語に自信も全くなかったので、留学先の教授からその誘いを受けた時すぐ迷ったが、結果的に発表をしたことで質疑応答などから気付ける部分も多かった。留学自体に挑戦したことでも自分の中では、じぶんで考えて行動するということを学べたと思う。	
あなたにとっての留学の価値 ※事後研修事前課題・事後研修の内容を踏まえて記入してください	自分にとっての留学の価値は2つある。1つは留学を通して自分の技術を高めることができたということである。今回の留学の目的としていた、実験の手技の習得や、英語でのディスカッション力の向上を目指すなどという点においても、技術的な面で自分を高めることができたという点は自分にとって大きな留学の価値である。もう1つは、トピタテでの留学を通して人とのつながりを持つたということである。留学先の研究者たちはもちろん、トピタテの研修で出会った自分の専門の分野とは全く異なった人たちとつながりを持つたことはとても有意義であると考えている。	

●留学機運醸成に向けた活動

エヴァンジェリスト活動企画 ※事前課題P65.66と研修で検討した内容をもとに記載してください	カテゴリ	イベント（大学等）
	活動タイトル （30字以内）	後輩たちへ留学体験を伝える
	対象者・人数	宮崎大学の学生
	実施場所	宮崎大学
	実施時期	～2018/03 卒業まで
	内容	自分の学科の後輩や大学の後輩に対して自分の留学体験や、留学に対してどのような準備をしたかについて伝えていく。
	達成目標	自分の留学の話をした人の中で一人でも多くの留学生が生まれること。
実施に向けたアクションプラン	自分の学科や、他学科の友達にもトビタテで留学をしたという人たちは増えているので、そういう人たちと会える機会を増やし、どのような話をすれば留学に対するハードルが下がるのかなどを話し合い、それを自分の留学体験の中に組み込む。	

※「留学の活動概要と成果で2か所以上の留学先を記載したい場合、下記に記載してください。

活動概要と成果（予備）	1	国名	
		都市名	
		受入機関名	
		期間	
		活動概要と成果	
	2	国名	
		都市名	
		受入機関名	
		期間	
		活動概要と成果	

派遣留学生等在籍大学等チェック欄 ※下記チェック欄にチェックし、学生にExcelデータで返却してください

- (1) 報告書の全項目が抜け漏れなく入力されている チェック 1
- (2) 報告書内容がきちんと留学経験を振り返った内容になっている チェック 2

確認日：10/16	確認者名：河野久
-----------	----------